関西学生陸上競技連盟

新型コロナウイルス感染予防対策

弊連盟では上記の大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイダンス等を参考に、下記の内容を作成しています。安全、安心な大会運営を目指しますので遵守をお願いします。なお、守っていただけない場合は、参加（入場）を認めない、また参加（入場）していても競技場から退場していただくことがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

Ⅰ　基本注意事項

1.　無観客試合

- 競技者、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー等）のみ入場可能とする。
- 選手の保護者は、感染症対策を講じて行うため入場はできない。
- マスコミ関係者は事前に関西学連に問合せ、本連盟が定める感染症対策を遵守する場合のみ入場を認める。

2.　応援自粛

- 声を出しての応援は禁止とする。また、チームスタッフが選手の指導等する場合、大声で行わず、対人距離を必ずとること。

3.　「3 密」の回避

- 対人距離を２ｍ以上確保すること。撮影などをする場合も同様とする。
- マスクの着用を徹底すること。（ただし、選手の競技中は除く）
- 諸室は関係設備を運転し、窓・ドアを開放する。

4.　感染症対策

- 感染経路となりうる高頻度接触部位は主催者が消毒する。
- 競技者、審判員、その他全ての入場者は、こまめに手洗い・消毒を行い、ハンカチやマイタオルを持参すること。
- 入場者に「京都府コロナ追跡システム」への登録を依頼する。

Ⅱ　大会参加について

1. 競技者・チーム関係者は検温を義務とし、大会開催 2 週間前後の体調管理チェックシートを必ず記入すること。
   ※上記書類に 37.5 度以上の発熱や体調不良が見られる場合、ワクチンを接種したことを証明する書類のコピーを当日参加者名簿とともに受付へ提出すること。
2. 競技者・チーム関係者はウォーミングアップ開始にあわせて来場し、競技終了後速やかに競技場を退出すること。
3. 下記に該当する場合は大会に参加（入場）を認めない。
   ① 当日、参加選手の体調を確認した「確認書」が大学より提出されていない。
   確認書：本大会へ参加する大学関係者すべての体調を確認し、体調管理チェックシートの記載も確認した旨を証明する書類。大会当日、競技開始時刻【10 時 30 分】までに受付へ提出すること。
   ＊競技開始時刻までに提出できない大学は、理由と共に大会前日までに弊連盟へメールにて連絡すること。
   ② 大会当日の朝の検温で 37.5℃を超え、強い倦怠感と息苦しさがある。
   ※試合当日がワクチン接種から３日以内に該当し、発熱や体調不良がある場合、ワクチンを接種したことを証明する書類を提出することで出場を認める場合がある。

③ 発熱がなくても風邪の症状や体調不良がある者
④ 同居家族や知人、友人に感染が疑われる人がいる場合
⑤ 「誓約書」が大学より提出されていない場合

Ⅲ 招集について

1. 第一次招集は、招集所にて指定時間内の○付けのみとする。招集所では、並ぶ位置に一定距離を空けたマーカーを配置する。
2. 腰ナンバーカードは招集所にて各自で受け取ること。（貼りつけ方式、使い捨て）
3. 競技役員はフェイスシールドを着用し、スタート待機所は対人距離を確保できる広さを確保する。

Ⅳ 番組編成について

1. トラック競技は一度に多人数が集まらないように余裕をもった番組編成を行う。

Ⅴ 給水について

1. 給水を実施する際は、競技開始前に手指を消毒し、担当補助員はマスク・フェイスシールド・手袋を着用して行う。
2. スポンジは使用しない。

Ⅵ 記録について

1. 滞留を避けるため、リザルトは記録掲示板に貼りださない。
2. 記録は、HP と関西学連公式 Twitter にて周知しアナウンスでの発表を正式発表とする。

Ⅶ 更衣室に関して

1. 最大 5 名の利用とする。また、更衣室に張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導する。
2. 換気扇を常に作動させ、窓を開放する。なお、シャワーの使用は禁止する。

Ⅷ その他

1. 競技終了後、全ての箇所、競技用機材を清掃、消毒する。
2. 伝達事項は HP に記載し、大会前の周知を図る。
3. 参加者は大会後、症状が 4 日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（関西学連）に体調管理チェックシート【大会前】を提出し報告すること。
4. 集団練習はせず、２ｍ以上の対人距離を空けて練習を行うこと。
5. 怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医師、看護師等医療従事者が対応するが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には別途その場にいる医療従事者と相談して対応を行う。